

令和 8 年度研究開発報告書類の製作に関する単価契約
仕様書

令和 7 年 12 月

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
研究開発推進部 科学技術情報課

1. 目的

本仕様書は、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下「原子力機構」という）が研究開発報告書類を円滑に刊行することを目的として定めたものである。

2. 研究開発報告書類の種類

原子力機構が刊行する研究開発報告書類は JAEA-Research、JAEA-Review、JAEA-Technology、JAEA-Data/Code、JAEA-Testing、JAEA-Evaluation 及び JAEA-Conf の 7 種類である。これらは冊子体で刊行するとともに、原子力機構の研究開発成果検索・閲覧システム（JOPSS）によって電子的に発信している。なお、本契約期間中に上記の種類に変更が生じる可能性があるが、その場合であっても本仕様に定める作業内容の変更は行わないものとする。

3. 作業項目

- (1) 組版・版下作成
- (2) 校正
- (3) 電子データ作成
- (4) 冊子体作成
- (5) CD-ROM／DVD-ROM 作成

4. 作業内容

受注者は、組版・版下作成、校正の編集作業を行い、電子データを作成する。また、原子力機構の指示に基づき、作成した電子データから冊子体及び CD-ROM／DVD-ROM の作成を行う。

4.1. 組版・版下作成

受注者は、原子力機構の指示に基づき組版を行い、版下を作成する。組方は横組とする。

原子力機構は、紙に出力した原稿（以下「紙原稿」という）及び電子ファイル（CD-ROM 等、以下「電子原稿」という）を支給する。このとき、電子原稿のファイルは Windows OS または Mac OS で一般的に使用するソフトウェア等（Microsoft Word®、Microsoft Excel®、Microsoft PowerPoint®、TeX®、LaTeX®、Adobe Illustrator®、Adobe Acrobat®、Canvas®、KaleidaGraph® 等）により作成されたものである。

受注者がワープロ及び電子トレースにより組版を行う場合は、原子力機構が指示する出力印字及び字詰めとし、その出力解像度は原則として 600dpi 以上とする。ワープロ及び電子トレースは、原子力機構が指定したソフトで作成し、ソフトのバージョンも同一のものとする。なお、特殊な数値入力、専用端末機が必要な製図用ソフト（CAD® 等）による作成は含まないものとする。

(1) 表紙

受注者は、原子力機構が支給する背景デザイン、ロゴ、図及び写真等をレイアウトし、表表紙（以下「表 1」という）、表表紙裏（以下「表 2」という）、裏表紙裏（以下「表 3」という）、裏表紙（以下「表 4」という）及び背表紙の編集を行って版下を完成させる。

- ① 表 1 の基本デザイン・レイアウト例は別紙 1 のとおりとする。
- ② 表 2 には、原子力機構等の著作権表示（別紙 2 イメージ）を入れる。著作権表示の種類は

原子力機構が指示する。

- ③ 表3は、空白（別紙3）とする。
- ④ 表4には、再生紙を使用している旨の記述（別紙4）を入れる。
- ⑤ 背表紙には、本文が日本語の場合、報告書番号を横書き、報告書タイトルを縦書き、原子力機構名を縦書きで入れる。本文が日本語以外の場合、報告書番号、報告書タイトル、原子力機構の英文名称をそれぞれ横書きで入れる。報告書タイトルが長い場合、2行書きにしても構わない。背表紙にタイトルが全て記入できない場合、配置等は必要に応じて原子力機構と協議し決定する。

なお、別紙1～4に改訂または変更があった場合、原子力機構は改訂版の原稿をもって受注者に通知する。

（2）本文

受注者は、原子力機構が支給する原稿（紙または電子）の指示に従い、電子原稿をもとにパソコン上で入力・加除修正等の編集作業を行い、ページ番号（以下「ノンブル」という）及び報告書番号の入力（以下「柱」という）等の貼込作業を行って版下を完成させる。

なお、修正入力・加除修正等の編集作業を行った場合は、原子力機構が支給する電子原稿にも修正を反映すること。

- ① 1行の文字数や1ページの行数、余白等の本文のレイアウトは、別紙5「ページ作成例」のとおりとし、本文開始では改丁する。図表等を含むページで別紙5に示すレイアウトより大きな原稿がある場合は、紙原稿の指示に従いレイアウトに収まるよう縮小する。
- ② ノンブルはフォントMS P明朝、サイズ10ptとする。抄録ページから目次までがローマ数字（i, ii, iii…）、1章以降がアラビア数字の「ひげ付き」(-1-, -2-, -3- …)とし、各ページ下方の余白中央とする。ただし、A3版のページは2ページ分のページ番号（例：-3～4-）をページ下方の余白右に印字するものとする。また、裏白のページにはノンブルを打たない。
- ③ 柱の報告書番号はフォントTimes New Roman PS MT、サイズ9.2ptとする。抄録部分の貼り込み位置は、原子力機構が発注の都度、指示する。目次以降部分の貼り込み位置は上方余白中央とし、裏白のページには柱を打たないものとする。

4.2. 校正

受注者は、上記4.1で編集した版下を紙に出力し、内部校正作業（文字校正・色校正）を行う。その結果必要と認められる場合は、上記4.1に基づき適宜版下を修正して再編集する。

また、受注者は、版下を原子力機構に提示する。その際に、迅速な校正作業を実現するため7.に示す東海村所在の原子力機構の各拠点・センターに勤務する執筆者には受注者から直接渡すこととし、その他の執筆者のものは受注者から直接発送することとする。原則として本仕様内で最も効率的な方法により発送するものとし発送方法、業者等は問わない。発送済信憑類等、発送したことが証明できる書類を旧本部事務所の編集担当部署（検査担当課※）に提出すること。また、原子力機構が指示する場合は電子ファイルで提示する。原子力機構の修正指示に従って上記4.1に基づき適宜版下を修正して再編集する。

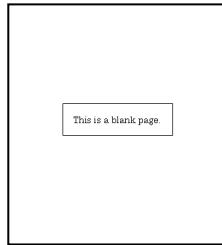
この校正作業と上記4.1に基づく修正・再編集作業は、原子力機構が了承するまで繰り返すこととする。

4.3. 電子データ作成

受注者は、上記 4.1 及び 4.2 で作成した版下を用いて、電子データを作成する。

- (1) 作成する電子ファイルは PDF ファイル（Adobe Acrobat® DC 以上）とする。
- (2) 作成した PDF ファイルは次の仕様を満たしているものとする。ただし、原子力機構が指定した場合を除く。
 - ① ファイルの複製、名称変換が可能であること。
 - ② ファイルの分割、ページ指定による抽出が可能であること。
 - ③ 全ての文字フォント及び透明テキストが埋め込まれていること。特に、日本語対応ではないパソコンで表示した場合に文字バケが発生しないこと。なお、文字フォントの埋め込み等詳細については、別紙 6 「文字フォントの埋め込み等技術仕様」に定める。
 - ④ 本文等に URL の記載がある場合は、テキスト部分を当該 web ページ等にリンクする。
 - ⑤ A3 版原稿は A3 版で PDF ファイルを作成すること。
 - ⑥ 原則として出力解像度は 600dpi とする。ただし、支給する原稿の電子ファイルにないページを電子化する場合は、イメージスキャンにより PDF 変換を行い、その解像度等を指示する。また、支給する原稿の電子ファイルに高密度解像のページがある場合も指示する。
 - ⑦ 原則としてカラー原稿はカラーの PDF ファイルを作成する。
 - ⑧ 本文とともに表紙（表 1～表 4 は全て A4 版）も PDF 化し冊子体と同じ順番にする。ただし、表 4 は再生紙を使用している旨の記述を削除したもの（背景色のみ）を PDF 化するものとする。なお表 1 はテキスト認識できるようにすること。
 - ⑨ 表紙と本文のファイルは分けずに一つの PDF ファイルにする。
 - ⑩ 本文中の空白ページは、「This is a blank page.」と入れる。本文の最終ページが裏白であっても省略せず作成する。

（作成例）



- ⑪ PDF ファイルのページラベル設定は、表 1～表 4 は Cover1～4 とし、他は 4.1 (2) のノンブルと同様とする（ひげは付けない）。A3 版は 2 ページ分（X-X）、空白ページは括弧付きとする。
- ⑫ Web 表示用に PDF の最適化を行った上で、PDF/A 形式で保存する。

(3) ファイル名称

- ① PDF ファイルの名称は、研究開発報告書類の報告書番号とする。
- ② 英数字の間にハイフンを入れる。
例) レポート番号 : JAEA-Research 2026-001 → JAEA-Research-2026-001.pdf
- ③ JAEA-Data/Code は、「/」スラッシュを「-」ハイフンに変更する。
例) レポート番号 : JAEA-Data/Code 2026-001 → JAEA-Data-Code-2026-001.pdf

(4) ファイル分割

電子ファイルの容量がおおよそ 50MB を超える場合は、章の切れ目など適切な位置で PDF ファイルを分割する。分割後のファイル名には通し番号を入れる。ファイルを分割する際に疑義が生じた場合は、原子力機構担当者と分割位置や分割数、ファイル名の付与等詳細を協議し決定する。

例) レポート番号 : JAEA-Research 2026-001

→JAEA-Research-2026-001-01.pdf JAEA-Research-2026-001-02.pdf

(5) CD-ROM 等への保存

4.3. (1) ~ (4) で作成した電子データを CD-ROM (容量が不足する場合は DVD-ROM) に収録する。これに必要な CD-ROM 等及びプラスチックケース等は、受注者が調達するものとする。電子データを収録した CD-ROM 等の表面に報告書番号、DOI、報告書タイトル、著者名とその所属、刊行年月及び JAEA のロゴをラベル印字する。

4.4. 冊子体作成

(1) 用紙

本文に用いる用紙は、グリーン購入法適用の再生上質紙 44.5K とする。表紙に用いる用紙は、グリーン購入法適用の再生色上質紙特厚口（水色）とする。

(2) 印刷

受注者は、4.1. 及び 4.2. で作成した版下を用いて面付け作業を行い、原子力機構が発注時に指示する下記①～③の方式により印刷する。ただし、4.3. (2) ⑩によらず空白ページには何も印刷しないものとする。

面付け作業は、用紙版型（版下の大きさ）が A4 版または A3 版であることから、最も効率的な面取りを行うものとする。原子力機構が下記①によるカラー印刷を指示した場合は、色分解・色校正といったプロセスカラー製版の工程を経るものとする。

① オフセット印刷

原則として、写真入りのページ、カラーページ、精緻な図表、A3 版以上のページ、1,000 部を超える印刷、その他ダイレクト印刷では不鮮明となる場合の印刷に適用する。電子製版機でアルミ製版（PS 版）を作成し印刷を行う。

② ダイレクト印刷

原則として、文字を中心としたページ、1,000 部以下の印刷に適用する。静電法により紙製のダイレクト版を作成し印刷を行う。

③ オンデマンド印刷

オンデマンド印刷とは、面付け・製版・刷版を行わず、版下の電子データを高精細モード対応のカラーレーザープリンター等で紙出力することをいう。これに使用する機器は、出力解像度 600dpi 以上の対応ができるものとする。

(3) 製本

① 丁合

上記 (2) により刷り上がった刷本（台）を、ノンブルドおり丁合する。カラーページ等支給（※）があった場合は、支給ページも含めて丁合する。なお、原子力機構が支給ページ作成の際に 4.4. (1) の用紙の使用を希望する場合は、受注者は原子力機構の指定する判型及び枚数の用紙を提供する。執筆者が 7. に示す東海村所在の原子力機構の拠点・センターの場合は、受注

者が執筆者へ当該用紙を持ち込むものとし、それ以外の執筆者のものは 7.に示す旧本部事務所の編集担当部署に持ち込むこととする。

※ カラーページ等支給とは、原子力機構が指示するページについて、受注者が印刷するのではなく、4.3.で作成した電子データを用いて原子力機構がレーザープリンター等で紙出力し受注者に支給することをいう。

② 折

A3 版のページは Z 折（2 回折）する。

③ 表紙加工

製本方法は無線綴じ（くるみ製本）とする。ページ数が多く背割れの恐れがある場合は、針金で 2 ヶ所を止めてからくるみ製本をするものとする。Z 折の A3 版のページ数が多く冊子厚みに凸凹が生じる場合は、凹凸を緩和するよう調整してくるみ製本をするものとする。

また、原子力機構が 4.4. (4) の付録 CD-ROM 等作成及び貼り付けを指示した場合は、本文最終ページと表 3 の間に CD-ROM 等収納ポケットの取り付け用台紙を挿入して製本する。

(4) 付録 CD-ROM 等の製作及び貼り付け

原子力機構の指示があった場合、受注者は以下のとおり付録 CD-ROM（容量が不足する場合は DVD-ROM）を作成し貼り付け作業を行う。

① 原子力機構が支給する付録用電子ファイルを CD-ROM 等に必要部数複製する。このとき、マスターディスク作成・CD プレスといった大規模な作業でなく、パソコンを用いて複製する。また、これに必要な CD-ROM 等は受注者が調達する。

② 原子力機構が報告書添付用 CD-ROM 等に含まれている文書ファイルの PDF 変換を指示した場合、以下の仕様に基づき行う。

イ) 作成する電子ファイルは PDF ファイル（Adobe Acrobat® DC 以上）とする。

ロ) 作成した PDF ファイルは次の仕様を満たしているものとする。

- ・電子ファイルが複数であっても、各ファイルのページ順に 1 つの PDF ファイルにまとめる。
- ・ファイルの複製、名称変換が可能であるものとする。
- ・ファイルの分割、ページ指定による抽出が可能であるものとする。
- ・全ての文字フォントを埋め込む。
- ・原則として出力解像度はデフォルト値（600dpi）とする。
- ・原則としてカラー原稿はカラーで PDF ファイルを作成する。

③ 作成した付録 CD-ROM 等に、報告書番号、DOI、報告書タイトル、著者名とその所属、刊行年月及び JAEA のロゴを入れ、ラベル印字する。印字の大きさ、配置等は原子力機構と協議し決定する。

④ 上記（3）で報告書本体に取り付けられた台紙に付録 CD-ROM 等を収納するためのポケットを取り付ける。これに必要なポケットは、ストッパー型 #11（白金化成株式会社製）相当品とし、受注者が調達する。

⑤ 付録 CD-ROM 等を、取り付けたポケットに収納する。

4.5. CD-ROM 等の作成

(1) レーベルの作成

レーベルは、4.1.で作成した表紙（表1）を参考に、報告書番号、DOI、報告書タイトル、著者名とその所属、刊行年月及びJAEAのロゴを入れ、カラーで作成する。印字の大きさ、配置等は原子力機構と協議し決定する。

(2) フロントジャケットの作成

フロントジャケットは、4.1.で作成した表1と同じデザインとする。配置等は必要に応じて原子力機構と協議し決定する。

(3) バックインレイ及び背表紙の作成

バックインレイは、4.1.で作成した表4と同じデザインとする。ただし、印刷物ではないので、再生紙を使用している旨の記述は入れないものとする。

背表紙は4.1.で作成した背表紙と同じデザインとする。ただし、本文が日本語の場合の原子力機構名、本文が英語の場合の原子力機構の英文名称は不要とし、背表紙に全て記入できない場合、配置等は必要に応じて原子力機構と協議し決定する。

(4) レーベル、ジャケットの校正

作成したレーベル、ジャケットを原子力機構に提示し、原子力機構の修正指示に従って適宜修正を行う。

(5) CD-ROM等の複製

4.3.で作成した電子データ等をCD-ROM（容量が不足する場合はDVD-ROM）に必要部数複製する。このとき、マスターディスク作成・CDプレスといった大規模な作業でなく、パソコンを用いて複製する。また、これに必要なCD-ROM等は受注者が調達する。

(6) CD-ROM等の収納

4.5. (1)～(5)で作成したCD-ROM等を透明プラスチックケースに収納し、そのケースはOPのり付袋(CD用)に入れ封をする。これに必要なケースはHEIKO社製クリスタルパックテープ付(T-CD)相当品とし、受注者が調達する。

5. 指示

原子力機構は原稿を受注者に支給し、発注指示書（以下「指示書」という）により作成方法、作成部数等の指示を行う。受注者は、発注指示書及び4.に定める仕様に基づき作業を行う。

6. 納品期限

納品期限は、原子力機構からの指示書に定める。

7. 納品物及び納品方法

電子データ（4.1 (2)で修正した電子データ及び4.3.で作成した電子データをCD-ROM等に格納する。修正した電子データがPDFファイルのみであれば4.3.のみでも構わない）及び抄録の抜刷（日英・両面印刷可）については各1部、旧本部事務所の編集担当部署（検査担当課※）に持ち込み納品する。

冊子体については、5.で指示した部数について、東海村所在の原子力機構の拠点・センター（本部、原子力科学研究所、核燃料サイクル工学研究所、J-PARCセンター、旧本部事務所）に勤務する執筆者が執筆した納品物の場合、迅速な納品を実現するため受注者が持ち込み納品する。

その他の原子力機構の拠点・センターに勤務する執筆者が執筆した納品物の場合、受注者が直

接発送し納品する。原則として本仕様内で最も効率的な方法により発送するものとし発送方法、業者等は問わない。発送済信憑類等、発送したことが証明できる書類を旧本部事務所の編集担当部署（検査担当課※）に提出すること。

ただし、執筆者の勤務地に關係なく、一定部数は旧本部事務所の編集担当部署（検査担当課※）に持ち込み納品することとする。「一定部数」は原子力機構から指示する。

※茨城県那珂郡東海村大字村松 4 番地 49

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

旧本部事務所研究開発推進部 科学技術情報課

各拠点・センターの所在地は別紙 7 「原子力機構 所在地一覧」のとおり。

8. 検査

原子力機構は、納入された研究開発報告書類が指示どおり作成されているかどうか、納品物及び計算書に基づき検査する。検査の結果、不合格となった場合は、受注者の責任において直ちに再作成し、納入するものとする。

検査員及び監督員

検査員

(1) 一般検査 管財担当課長

監督員

(1) 研究開発推進部 科学技術情報課員

9. 契約期間

令和 8 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日

10. 特記事項

- (1) 研究開発報告書類の製作にあたり、原子力機構の編集担当部署あるいは執筆者本人と作業工程等に係る綿密な協議・打合せを発注の都度数度にわたり行う必要がある。
- (2) 受注者は業務を実施することにより知り得た原子力機構の知的財産、各種データ、研究技術情報、成果及びその他の情報を原子力機構の許可なく開示、閲覧してはならない。特に、納品物である印刷物、電子データは必ず全品原子力機構に納入し、受注者のパソコン等から情報漏洩が発生しないよう情報セキュリティ対策を講じなければならない。
- (3) 原子力機構が支給した原稿、電子データ等は原子力機構に返却すること。
- (4) 令和 8 年度の発注予定数量は別紙予定表のとおりである。なお、数量は令和 8 年度発注予定数量であり、発注数量に増減が生じた場合でも異議を申し立てないこととする。
- (5) 本仕様書に定めのない事項又は疑義が生じた事項については、双方協議の上解決するものとする。

以上



Optima Bold ·
12pt · 19pt送り

JAEA-Technology

2024-010

DOI:10.11484/jaea-technology-2024-010

Optima Bold · 10pt

Optima
Bold · 100pt

主題：ヒラギノ角ゴシックW6平体1・18pt・28pt送り・右揃え

副題：ヒラギノ角ゴシックW6平体1・12pt・18pt送り・右揃え

英文（主副）：Optima Regular · 12pt · 18pt送り · 右揃え

研究施設等廃棄物の浅地中埋設施設における コンクリート等廃棄物の受入基準の検討

—鋼製角型容器への砂質土の充填方法—

Waste Acceptance Criteria for Waste Packages Destined for Near Surface Disposal
Containing Radioactive Waste from Research, Industrial and Medical Facilities
-Method of Filling Sandy Soil-

0.5ptケイ

仲田 久和 出雲 沙理 岡田 翔太 坂井 章浩

Hisakazu NAKATA, Sari IZUMO, Shota OKADA and Akihiro SAKAI

著者

和文：ヒラギノ角ゴシックW3平体1・12pt・18pt送り・右揃え（姓と名の間は英文スペース、著者と著者の間は和文1文字アキ）

英文：Optima Regular · 10pt · 14pt送り · 右揃え

バックエンド統括本部

埋設事業センター

Radioactive Wastes Disposal Center

Decommissioning and Radioactive Waste Management Head Office

所属

和文：ヒラギノ角ゴシックW3平体1 ·
12pt · 18pt送り · 右揃え

英文：Optima Regular · 10pt · 14pt送
り · 右揃え

背にはレポート番号、タイトル、日本原子力研究開発機構または
Japan Atomic Energy Agencyを記載。

和文：ヒラギノ角ゴシックW3 · 9pt

英文：Optima Regular · 9pt ·

Optima Bold ·
12pt · 28pt送り

0.5ptケイ

ヒラギノ角ゴシックW3平体1 ·
12pt · 18pt送り

October 2024

Japan Atomic Energy Agency

日本原子力研究開発機構

JAEA-Technology

別紙2
(表2(表紙裏)イメージ)

※①利用の際に許可を要する場合

本レポートは国立研究開発法人日本原子力研究開発機構が不定期に発行する成果報告書です。
本レポートの転載等の著作権利用は許可が必要です。本レポートの入手並びに成果の利用(データを含む)
は、下記までお問い合わせ下さい。
なお、本レポートの全文は日本原子力研究開発機構ウェブサイト (<https://www.jaea.go.jp>)
より発信されています。

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 研究開発推進部 科学技術情報課
〒319-1112 茨城県那珂郡東海村大字村松4番地49
E-mail: ird-support@jaea.go.jp

This report is issued irregularly by Japan Atomic Energy Agency.
Reuse and reproduction of this report (including data) is required permission.
Availability and use of the results of this report, please contact
Library, Institutional Repository and INIS Section,
Research and Development Promotion Department,
Japan Atomic Energy Agency.
4-49 Muramatsu, Tokai-mura, Naka-gun, Ibaraki-ken 319-1112, Japan
E-mail: ird-support@jaea.go.jp

© Japan Atomic Energy Agency, 2026

(表2(表紙裏)イメージ)

※②CC-BYの場合

本レポートは国立研究開発法人日本原子力研究開発機構が不定期に発行する成果報告書です。
本レポートはクリエイティブ・コモンズ 表示 4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。
本レポートの成果（データを含む）に著作権が発生しない場合でも、同ライセンスと同様の
条件で利用してください。（<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja>）
なお、本レポートの全文は日本原子力研究開発機構ウェブサイト（<https://www.jaea.go.jp>）
より発信されています。本レポートに関しては下記までお問合せください。

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 研究開発推進部 科学技術情報課
〒319-1112 茨城県那珂郡東海村大字村松 4 番地 49
E-mail: ird-support@jaea.go.jp

This report is issued irregularly by Japan Atomic Energy Agency.
This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License
(<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.en>).
Even if the results of this report (including data) are not copyrighted, they must be used under
the same terms and conditions as CC-BY.
For inquiries regarding this report, please contact Library, Institutional Repository and INIS Section,
Research and Development Promotion Department, Japan Atomic Energy Agency.
4-49 Muramatsu, Tokai-mura, Naka-gun, Ibaraki-ken 319-1112, Japan
E-mail: ird-support@jaea.go.jp

© Japan Atomic Energy Agency, 2026

※③CC-BY-SAの場合

本レポートは国立研究開発法人日本原子力研究開発機構が不定期に発行する成果報告書です。
本レポートはクリエイティブ・コモンズ 表示-継承 4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。
本レポートの成果（データを含む）に著作権が発生しない場合でも、同ライセンスと同様の
条件で利用してください。（<https://creativecommons.org/licenses/by-sa/4.0/deed.ja>）
なお、本レポートの全文は日本原子力研究開発機構ウェブサイト（<https://www.jaea.go.jp>）
より発信されています。本レポートに関しては下記までお問合せください。

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 研究開発推進部 科学技術情報課
〒319-1112 茨城県那珂郡東海村大字村松 4 番地 49
E-mail: ird-support@jaea.go.jp

This report is issued irregularly by Japan Atomic Energy Agency.
This work is licensed under a Creative Commons Attribution-ShareAlike 4.0 International License
(<https://creativecommons.org/licenses/by-sa/4.0/deed.en>).
Even if the results of this report (including data) are not copyrighted, they must be used under
the same terms and conditions as CC-BY-SA.
For inquiries regarding this report, please contact Library, Institutional Repository and INIS Section,
Research and Development Promotion Department, Japan Atomic Energy Agency.
4-49 Muramatsu, Tokai-mura, Naka-gun, Ibaraki-ken 319-1112, Japan
E-mail: ird-support@jaea.go.jp

(表2(表紙裏)イメージ)

※④CC-BY-NDの場合

本レポートは国立研究開発法人日本原子力研究開発機構が不定期に発行する成果報告書です。
本レポートはクリエイティブ・コモンズ 表示-改変禁止 4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。
本レポートの成果（データを含む）に著作権が発生しない場合でも、同ライセンスと同様の
条件で利用してください。（<https://creativecommons.org/licenses/by-nd/4.0/deed.ja>）
なお、本レポートの全文は日本原子力研究開発機構ウェブサイト（<https://www.jaea.go.jp>）
より発信されています。本レポートに関しては下記までお問合せください。

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 研究開発推進部 科学技術情報課
〒319-1112 茨城県那珂郡東海村大字村松 4 番地 49
E-mail: ird-support@jaea.go.jp

This report is issued irregularly by Japan Atomic Energy Agency.
This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NoDerivatives 4.0 International License
(<https://creativecommons.org/licenses/by-nd/4.0/deed.en>).
Even if the results of this report (including data) are not copyrighted, they must be used under
the same terms and conditions as CC-BY-ND.
For inquiries regarding this report, please contact Library, Institutional Repository and INIS Section,
Research and Development Promotion Department, Japan Atomic Energy Agency.
4-49 Muramatsu, Tokai-mura, Naka-gun, Ibaraki-ken 319-1112, Japan
E-mail: ird-support@jaea.go.jp

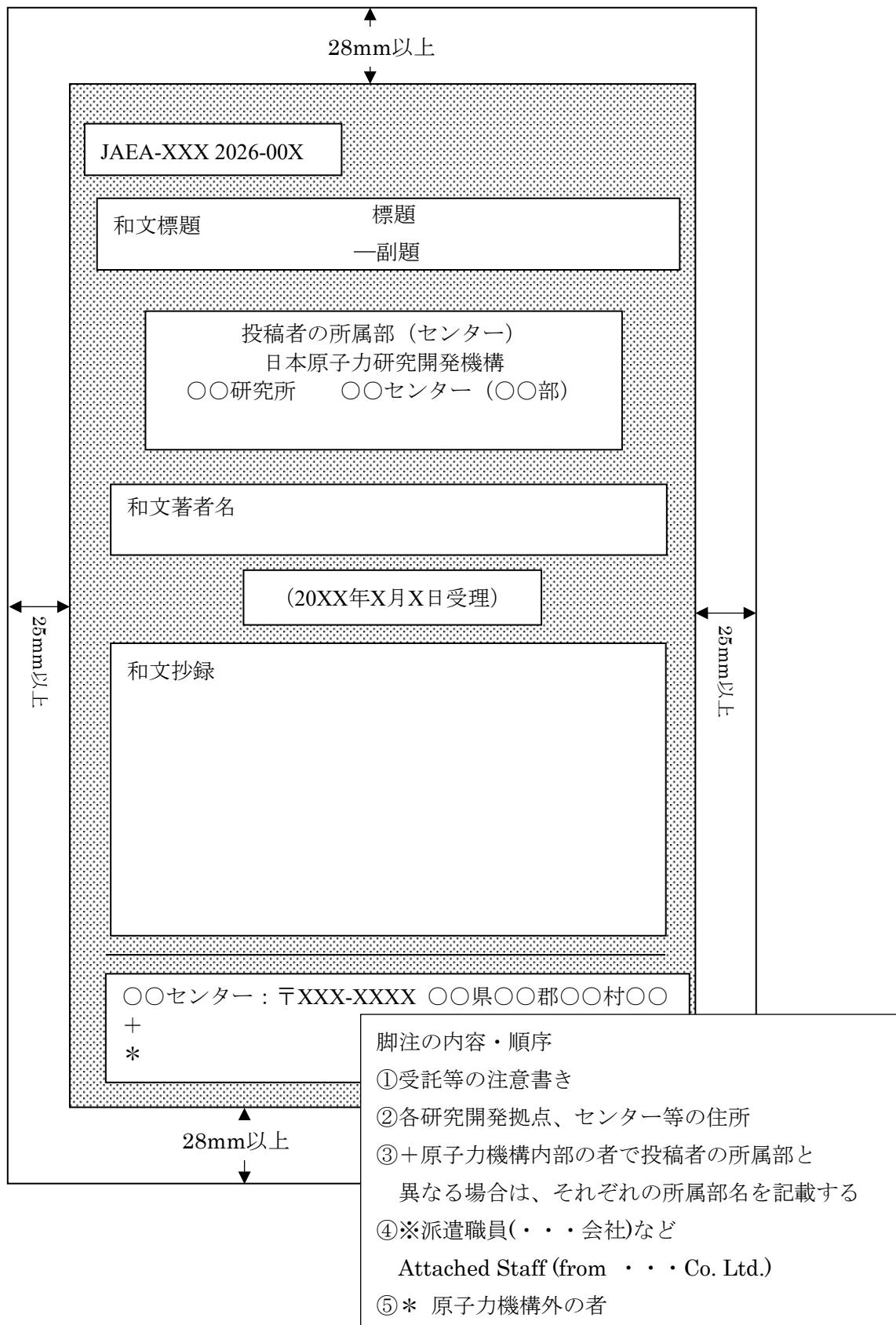
© Japan Atomic Energy Agency, 2026

ページ作成例

1.抄録のレイアウト

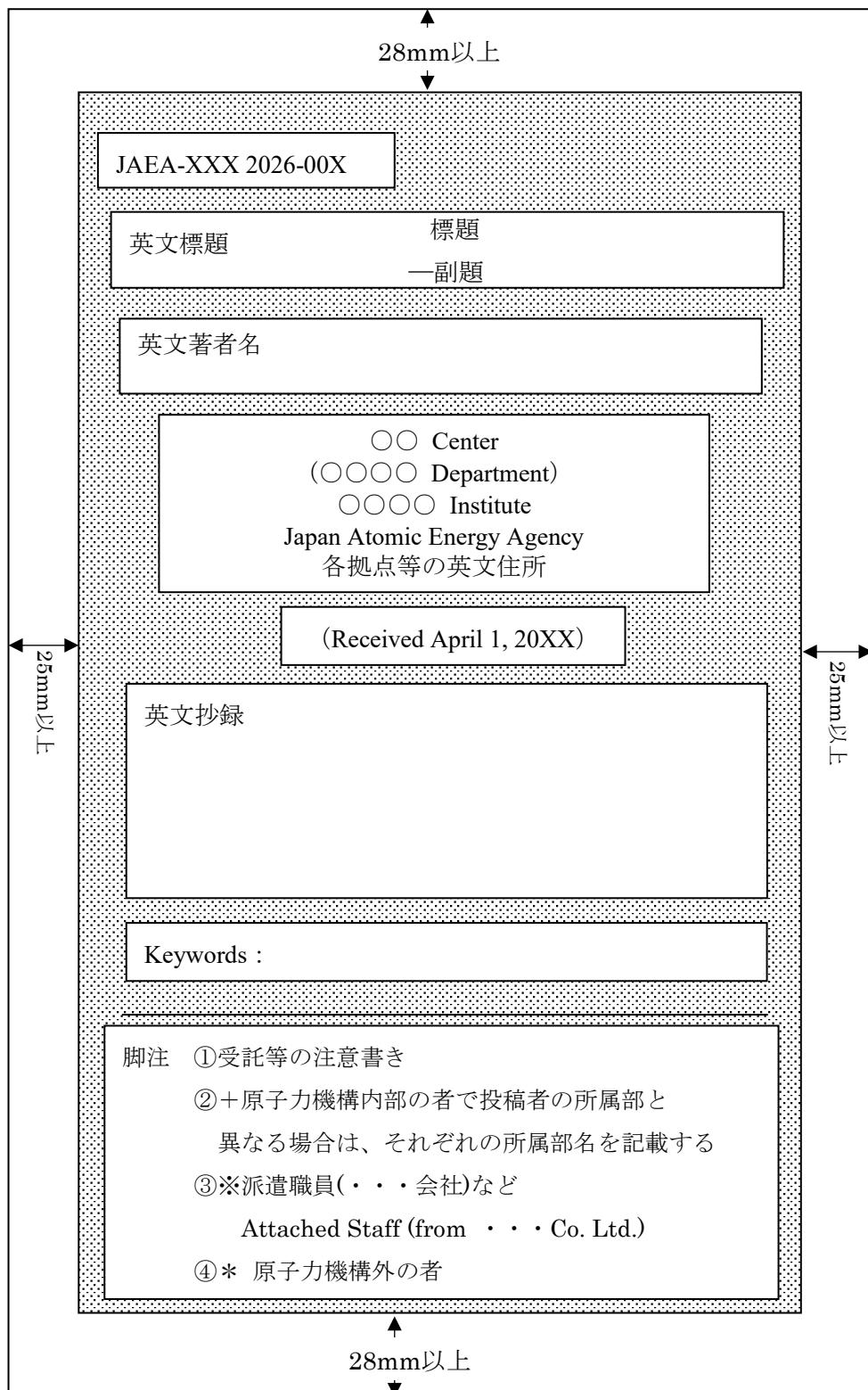
1.1.和文抄録

レイアウト図 (A4版用紙 (210×217mm) に作成)



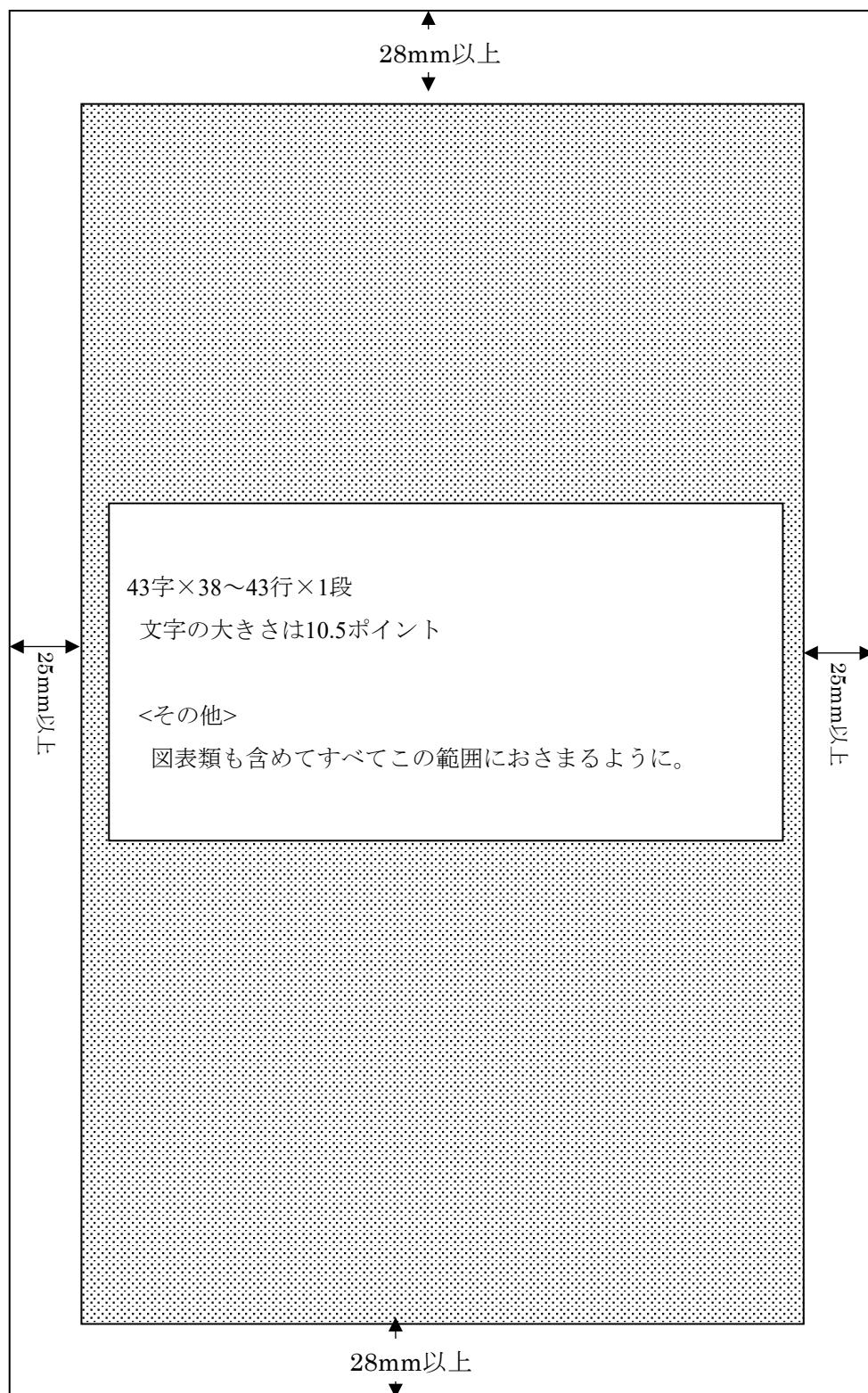
1.2.英文抄録

レイアウト図（A4版用紙（210×217mm）に作成）



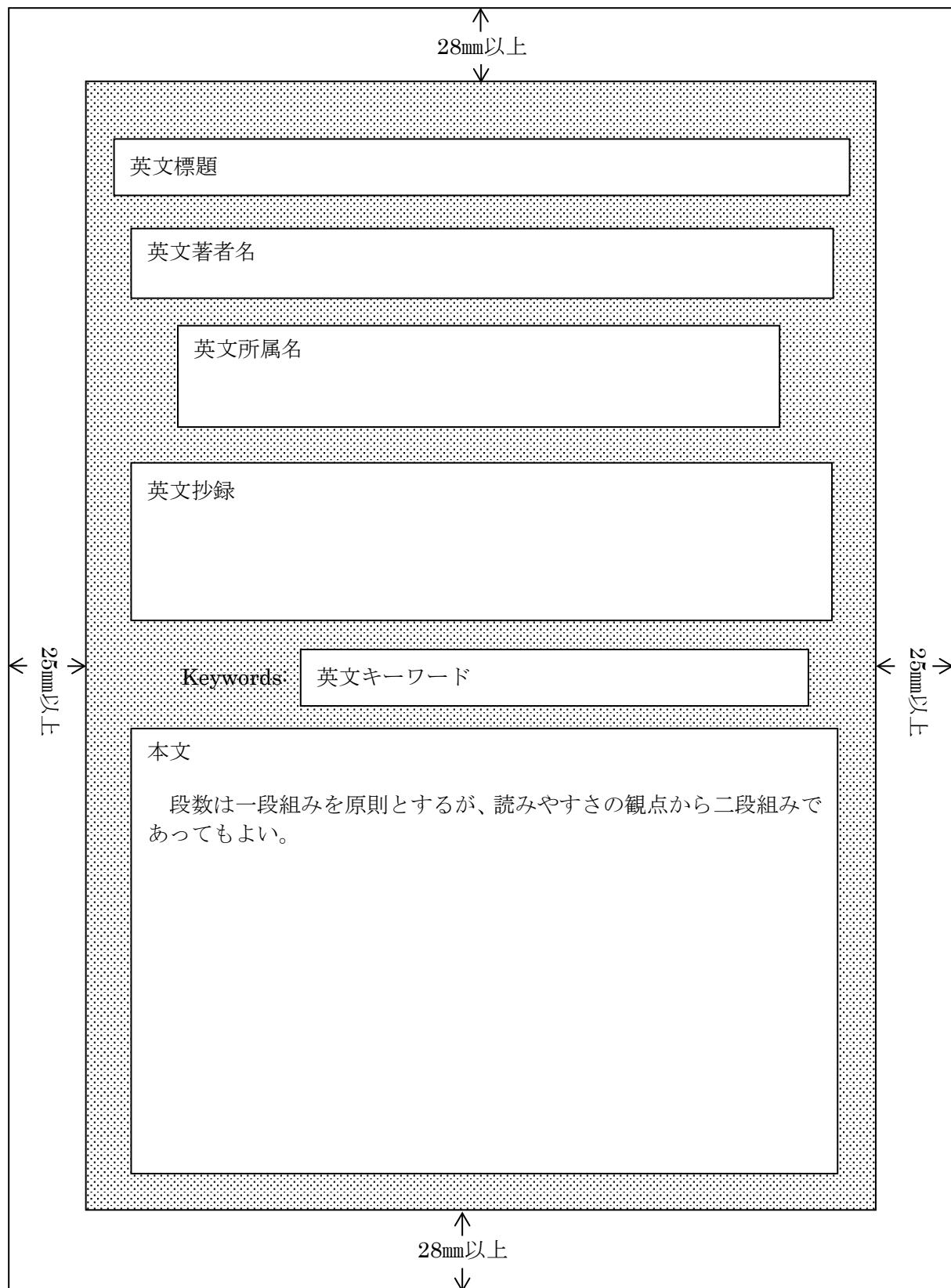
2.本文のレイアウト

A4版用紙（210×217mm）に作成



【個々の論文の記載】

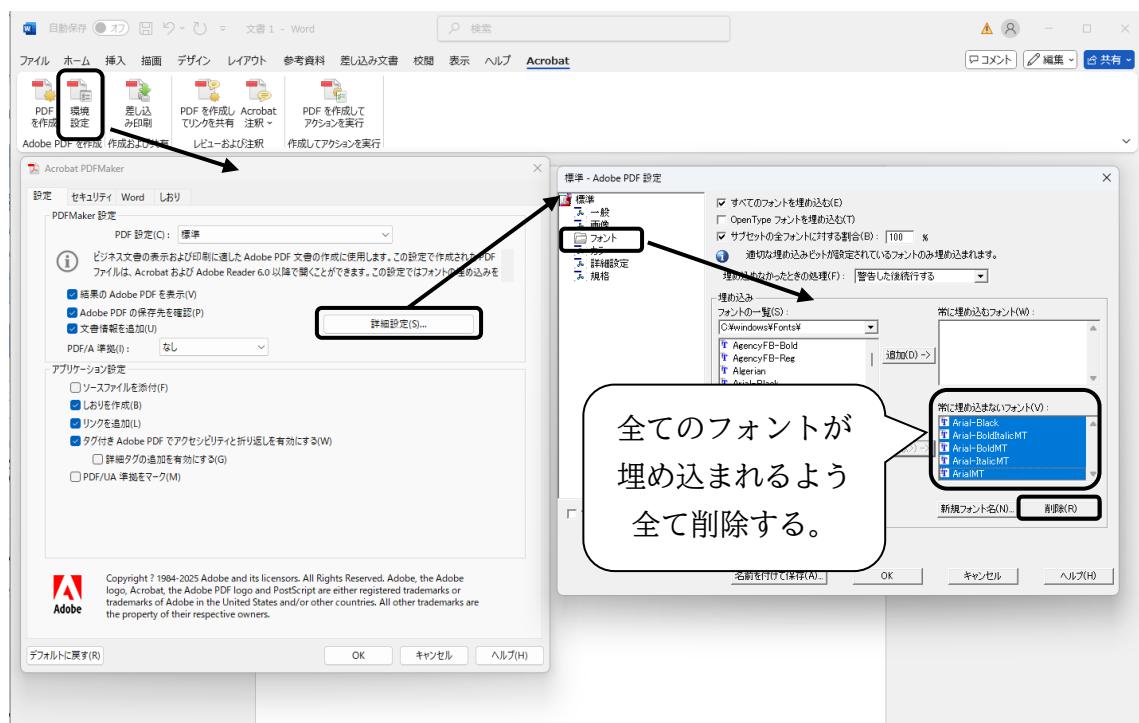
(収録論文（英文）レイアウトの例)



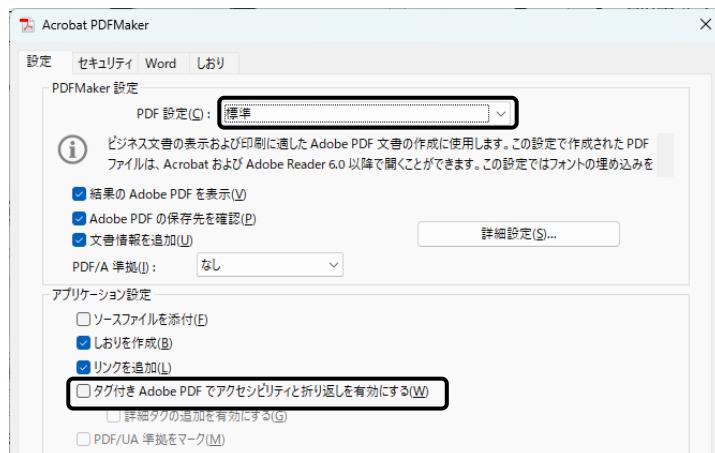
文字フォントの埋め込み等技術仕様

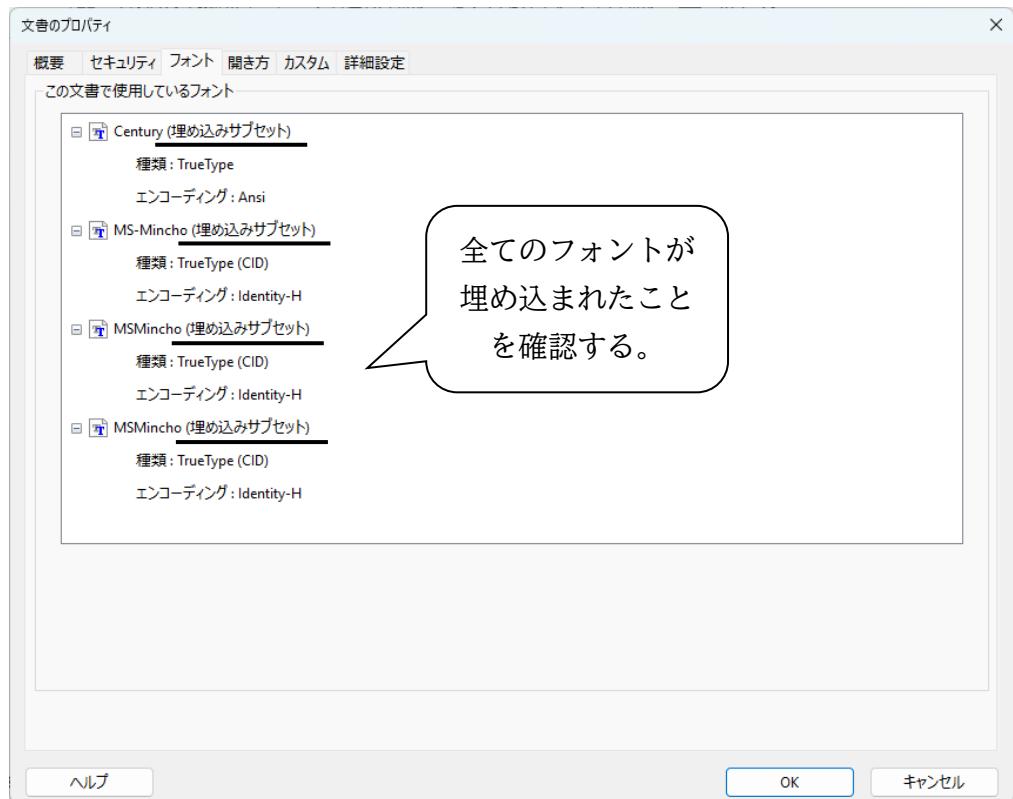
本項では、研究開発報告書類等印刷物の電子版作成に関して、日本語対応ではないパソコンを使用した際に文字化け等が発生しないための対応及びファイル容量の圧縮方法について定める。また、電子版作成に際して透明テキストは必ず付与することとする。

1 全てのフォントを埋め込んで PDF 化するための手順例

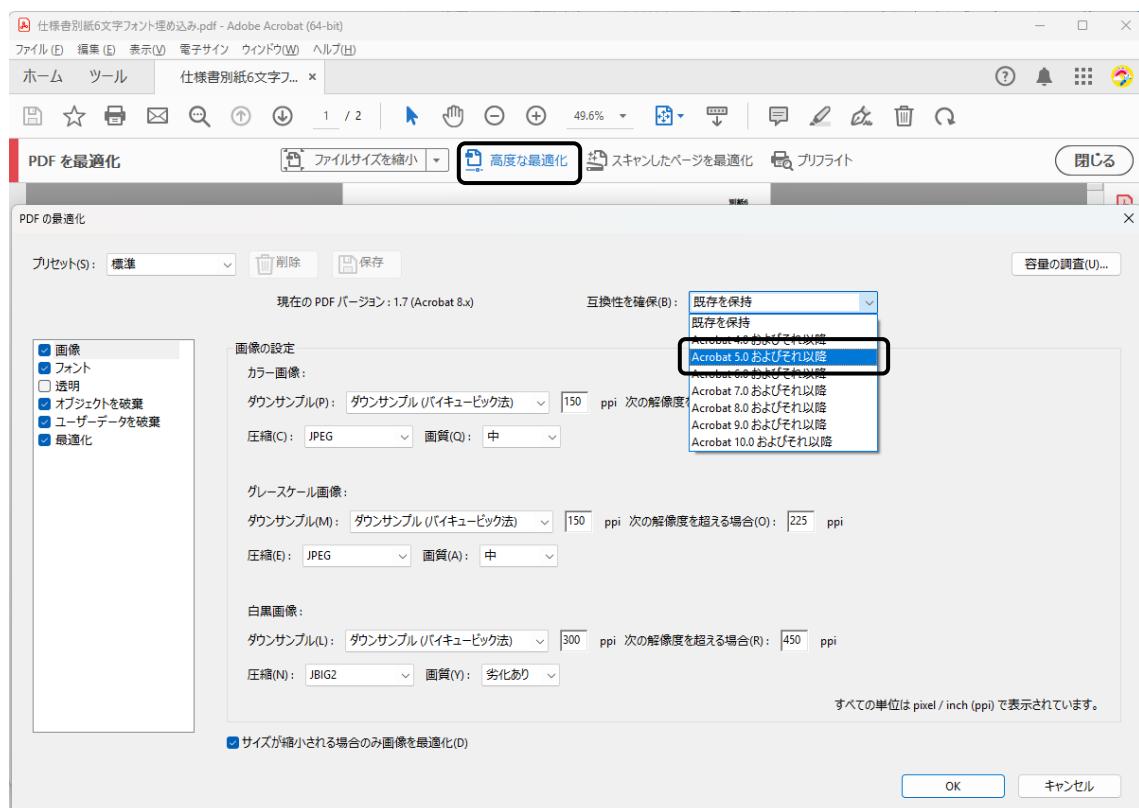


全てのフォントが
埋め込まれるよう
全て削除する。





2 すべてのフォントを埋め込んだ場合の PDF ファイル容量の縮小方法（例）



原子力機構 所在地一覧

校正版下提出先及び納品先の所在地は下記のとおりである。(令和7年11月現在)

<校正版下提出及び納品を持込とする拠点・センター>

1. 本部
〒319-1184 茨城県那珂郡東海村大字舟石川 765 番地 1
2. 原子力科学研究所
〒319-1195 茨城県那珂郡東海村大字白方 2 番地 4
3. 核燃料サイクル工学研究所
〒319-1194 茨城県那珂郡東海村大字村松 4 番地 33
4. J-PARC センター
〒319-1195 茨城県那珂郡東海村大字白方 2 番地 4
5. 旧本部事務所
〒319-1112 茨城県那珂郡東海村大字村松 4 番地 49

<校正版下提出及び納品を発送とする拠点・センター>

1. 東京事務所
〒100-8577 東京都千代田区内幸町 2 丁目 2 番 2 号 富国生命ビル 19 階
2. 福島廃炉安全工学研究所 いわき事務所
〒970-8026 福島県いわき市平字大町 7 番地 1 平セントラルビル 8F
3. 福島廃炉安全工学研究所 廃炉環境国際共同研究センター 国際共同研究棟
〒979-1151 福島県双葉郡富岡町大字本岡字王塚 790-1
4. 福島廃炉安全工学研究所 廃炉環境国際共同研究センター 福島県環境創造センター研究棟
〒963-7700 福島県田村郡三春町深作 10-2
5. 福島廃炉安全工学研究所 廃炉環境国際共同研究センター 福島県環境創造センター環境放射線センター
〒975-0036 福島県南相馬市原町区萱浜字巣掛場 45-169
6. 福島廃炉安全工学研究所 廃炉環境国際共同研究センター 檜葉遠隔技術開発センター
〒979-0513 福島県双葉郡檜葉町大字山田岡字仲丸 1-22
7. 福島廃炉安全工学研究所 廃炉環境国際共同研究センター 大熊分析・研究センター
〒979-1308 福島県双葉郡大熊町大字下野上字大野 116-5 CREVA おおくま 218 号室
8. 大洗原子力工学研究所
〒311-1393 茨城県東茨城郡大洗町成田町 4002 番地
9. システム計算科学センター 柏駐在
〒277-0871 千葉県柏市若柴 178-4 柏の葉キャンパス 148 街区 4
東京大学柏の葉キャンパス駅前サテライト 4F
10. 敦賀事業本部
〒914-8585 福井県敦賀市木崎 65 号 20 番地

11. 新型転換炉原型炉ふげん
〒914-8510 福井県敦賀市明神町 3 番地
12. 高速増殖原型炉もんじゅ
〒919-1279 福井県敦賀市白木 2 丁目 1 番地
13. 幌延深地層研究センター
〒098-3224 北海道天塩郡幌延町字北進 432 番地 2
14. 東濃地科学センター 土岐地球年代学研究所
〒509-5102 岐阜県土岐市泉町定林寺 959 番地の 31
15. 東濃地科学センター 瑞浪地科学研究館
〒509-6132 岐阜県瑞浪市明世町山野内 1 番地 63
16. 人形峠環境技術センター
〒708-0698 岡山県苫田郡鏡野町上齋原 1550 番地
17. 青森研究開発センター
〒035-0022 青森県むつ市大字関根字北関根 400 番地
18. 播磨放射光R I ラボラトリ
〒679-5148 兵庫県佐用郡佐用町光都 1 丁目 1 番 1 号
19. 原子力緊急時支援・研修センター 支援・研修センター（茨城）
〒311-1206 茨城県ひたちなか市西十三奉行 11601 番地 13
20. 原子力緊急時支援・研修センター 福井支所
〒914-0833 福井県敦賀市繩間 54 号大西平 6 番 2

以 上

令和8年度 研究開発報告書類の製作に関する単価契約 予定表

区分			単位	月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計		
電子データ作成	データ編集(文字主体)	難易度A(リンク修正含む)	版	10	200	270	90	100	190	180	200	200	200	400	2,040			
	データ編集(画像主体(1面付縮小/拡大))	難易度A(図版データ処理)	版	0	90	5	65	170	100	0	60	0	0	200	690			
	データ編集(画像主体(4面付縮小/拡大))	難易度A(図版データ処理)	版	0	40	10	0	0	5	5	5	20	20	70	175			
	データ編集(画像主体(8面付縮小/拡大))	難易度A(図版データ処理)	版	10	0	5	0	0	0	2	0	0	0	20	37			
	表紙データ作成		版	1	21	15	9	21	18	17	12	13	16	57	200			
	支給版(資料番号・頁打ち)貼込料		版	70	1500	1600	880	2100	1500	1300	1500	1200	1300	6000	18,950			
	電子データのPDF変換		件	1	21	15	9	21	18	17	12	13	16	57	200			
	CD/DVD-ROMへの保存	ケース含む	枚	1	21	15	9	21	18	17	12	13	16	57	200			
冊子体作成	コピー	モノクロ	A4	枚	50	2000	1200	800	1800	1200	900	1500	900	1100	5700	17,150		
			A3	枚	0	5	0	5	5	0	5	10	0	0	40	70		
		カラー	A4	枚	20	150	360	70	700	300	330	140	430	200	1300	4,000		
			A3	枚	10	130	100	20	40	40	50	20	30	30	180	650		
	オンドマンド	モノクロ	A4	枚	0	220	1800	0	660	1000	600	0	780	240	730	6,030		
			A3	枚	0	0	10	0	0	0	20	0	0	0	0	30		
		カラー	A4	枚	0	270	5600	0	3400	3500	1700	0	1600	900	2100	19,070		
			A3	枚	0	580	260	0	0	0	0	0	20	0	0	860		
	軽印刷	ダイレクト		版	20	680	530	410	740	520	450	650	410	540	2600	7,550		
		軽印刷		版	20	680	530	410	740	520	450	650	410	540	2600	7,550		
	オフセット印刷	CTP版出力	A3	版・色	10	50	90	10	100	80	20	80	20	50	210	720		
			A2	版・色	30	20	250	40	50	30	110	170	300	180	1100	2,280		
		モノクロ		版	10	50	90	10	100	80	20	80	20	50	210	720		
		カラー		版・色	30	20	250	40	50	30	110	170	300	180	1100	2,280		
	製本	無線綴じ	丁合	(1枚)	30	42000	49000	27000	70000	42000	33000	31000	66100	72000	200000	632,130		
			A3折り	(1折)	0	2000	9000	600	1000	0	2200	440	50	0	5500	20,790		
			表紙加工	(1部)	50	910	900	600	1320	900	740	540	1060	1150	3300	11,470		
		付録CD/DVD-ROMの複製	レーベル印字含む	枚	0	150	200	0	250	100	30	50	0	0	190	970		
		付録CD/DVD-ROMの取り付け	収納ポケット含む	枚	0	150	200	0	250	100	30	50	0	0	190	970		
		再生紙			枚	50	910	900	600	1320	900	740	540	1060	1150	3300	11,470	
	用紙	A4	上質紙	44.5K	枚	1360	38000	40000	26000	60000	37000	26000	31000	65000	71000	190000	585,360	
			上質紙	70.5K (付録CD/DVD-ROM取り付け用)	枚	0	150	200	0	250	100	30	50	0	0	190	970	
			色上質紙	中厚	枚	0	0	0	410	0	0	0	0	0	0	0	410	
		A3	コート紙	57.5K	枚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	20	
			上質紙	44.5K	枚	0	40	4300	300	500	0	60	220	0	0	2700	8,120	
			コート紙	57.5K	枚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	20	
	CD-ROM等の作成	レーベル・フロントジャケット・パックインレイの作成			データ編集	セット	0	15	10	10	15	15	10	10	5	10	30	130
		フロントジャケット・パックインレイの印刷			用紙(再生上質紙70.5K)含む	セット(枚分)	0	100	200	10	470	300	110	70	60	230	1050	2,600
		CD/DVD-ROMの複製			レーベル印刷、ケース等含む	枚	0	100	200	10	470	300	110	70	60	230	1050	2,600
発送	校正版下及び納品物の発送 (1件当たり初校、再校、納品の3回を予定)	茨城県外等への発送	件	1	5	3	4	7	4	3	2	3	5	8	45			

*作業の完了期限は、原稿及び電子版作成の難易度、ページ数及び発注部数等により異なるが、原子力機構側の校正が3日以内に完了した場合及び原子力機構の都合による発注後の原稿大幅修正がない場合は、下記の日数(営業日数)を目安とする。

原稿ページ数が50ページまで15日以内、50ページを超え100ページまで20日以内、100ページを超えて300ページまで25日以内、300ページ以上30日以内。

ただし、電子版のみで校正する場合はページ数にかかわらず15日以内。